

「感動する能力」

校長 村上俊一

「夢・挑戦・感動」これは今年度の神石小学校教育のスローガンです。この中で私は、「わかった、できた」「努力してよかった、みんなと一緒に頑張ったよかった」という「感動」を学校では数多く体験させたいと思っています。その積み重ねが人を成長させます。

読書、旅行、未知なるものとの出会い、スポーツや芸術活動など、感動は様々な場面で体験できますが、いずれの場合でも与えられた感動はとたく醒めやすいもので、自分で積極的に取り組んで得られた感動はいつまでも醒めることはありません。

作家・脚本家である秋本康さんの言葉に「感動する能力は自分で磨いていくものです。ささいなことでも感動できる能力があれば、人生すべて前向きになれる」とあります。人間はいつまでも瑞々しく魅力的でありたいものですが、それは心の持ちようで得られるものだと思います。

今、子どもたちは夏休みを過ごしています。心にぐっとくる、染みるような感動を体験できる機会に、進んで挑戦してほしいと願っています。